

## 安全衛生に関する警告

\*この安全衛生に関する警告文は、正確かつ完全なものとする必要があるため、定期的にアップデートされています。最新版は [oculus.com/warnings](https://www.oculus.com/warnings) をご確認ください。

### ▲ 危険

安全衛生に関する警告：Gear VRをお使いになる方は、人身傷害、不快感又は財産的損害が生じるリスクを小さくするため、Gear VRを使用される前に以下の警告文をよく読んで下さい。

### ▲ 危険

Gear VRをご使用になる前に：

- Gear VRの初期設定及び操作に関する指示を全て読み、これに従ってください。
- Gear VRの使用に推奨されるハードウェア及びソフトウェアをご確認ください。推奨されるハードウェア又はソフトウェアを使用しない場合には、不快感が生じるリスクが増大する可能性があります。
- Gear VRは一切の不適合な機器、付属品及びソフトウェアの使用を想定して設計されていません。不適合な機器、付属品又はソフトウェアの使用は、使用者その他の方のけがを招くおそれがあり、性能上の問題及び使用者のシステム及び関連するサービスへの損傷を生じさせるおそれがあります。
- ヴァーチャルリアリティを快適に体験するためには、運動感覚及びバランス感覚に支障がない状態にあることが必要です。疲労のある場合、睡眠不足の場合、アルコール若しくは薬物の影響下にある場合、二日酔いの場合、消化器官に異常がある場合、精神的ストレス若しくは不安感を抱えている場合、又は、風邪、インフルエンザ、頭痛、偏頭痛若しくは耳痛の症状がある場合には、有害な諸症状が生じやすくなる可能性があるため、Gear VRを使用しないでください。
- 妊娠中の方、高齢の方、先天的な両眼視機能の異常若しくは精神疾患をお持ちの方、又は、心臓に異常がある方その他重大な医学的問題を抱えている方は、Gear VRを使用する前に医師の診察を受けることをおすすめします。

### ▲ 危険

発作：

瞬間的な強い光又は光のパターンにより、重度のめまい、発作、てんかん発作又は失神を起こす方もおり（約4000人に1人）、今までに一度も発作や失神を起こしたことがない人や、発作やてんかんの既往がない人であっても、テレビを観ているとき、ビデオゲームで遊んでいるとき、ヴァーチャルリアリティを体験しているときなどに上記の症状が現れることがあります。こうした発作は子どもや20歳未満の未成年に多く現れます。発作、意識喪失その他のてんかんに関連する症状が現れたことのある方は、Gear VRを使用する前に医師の診察を受けて下さい。

### ▲ 危険 子ども：

幼い子どもは視覚の発達にとって非常に重要な時期にあるため、13歳未満の子どもはGear VRを使用しないでください。大人は、Gear VRを使用している又は使用したことがある（13歳以上の）子どもに後に記載するような症状がないか監視し、かつ、子どものGear VRの使用時間を制限し、使用中には休憩を取らせるようにしてください。目と手を協応させる能力、バランス感覚及びマルチタスクの能力に悪影響を及ぼす可能性があるため、長時間の使用は避けてください。

### ▲ 危険

用法上の一般的な注意事項：

けがや不快感が生じるリスクを減らすため、以下の指示に従い、Gear VRの使用中は以下に掲げる用法上の注意事項を遵守してください。

- **安全な環境でのみ使用すること：** Gear VRが生み出す没入型のヴァーチャルリアリティを体験している間は、現実の周囲の状況に対して意識を向けることは難しくなり、かつ、これを視認することは完全に不可能となります。
  - ▶ Gear VRの使用前及び使用中には、常に自分の周囲の状況に気を配ってください。また、けがをしないように注意してください。
  - ▶ Gear VRの使用は、平衡感覚を失わせる可能性があります。
    - ヴァーチャル環境において見ている物が現実の環境には存在しないことを忘れないでください。そして、ヴァーチャル環境にある物の上に座ろうとしたり、立とうとしたり、又はその物に体重をかけようとしないでください。
    - 常に安全に体験していただくため、Gear VRの使用中は、着席又は固定された状態を維持してください。
  - ▶ つまずいたり、壁、家具若しくはその他の物に衝突したりすると重大なけがにつながるため、Gear VRの使用前に、安全にGear VRを使用するための空間を片づけておいてください。
  - ▶ 近くに他の人、物、階段、バルコニー、開いた戸口、窓、家具、火気、天井扇風機若しくは電灯、又はGear VRの使用中最しくは使用直後にぶつかりそうな若しくは転倒させる可能性のあるその他の物が近くにないかどうかは、特に注意して確認してください。
  - ▶ Gear VRの使用場所からつまずく危険のある物を取り除いてください。
  - ▶ Gear VRを使用している際には、すぐ近くに人やペットがいることに気が付かない可能性があることを忘れないでください。
  - ▶ Gear VRの使用中に鋭利な物その他の危険な物を手に持たないでください。

- ▶ 歩行中、又は自転車若しくは自動車による走行中など、注意を払う必要がある状況では絶対にGear VRを装着しないでください。

- Gear VRが水平であり、かつ、頭部に適度に固定されていること及び単一の、かつクリアな映像が見えていることを確認してください。
- Gear VRは、自分の体に適応させるため、徐々に慣れるように使用してください。最初の使用は数分間のみとし、ヴァーチャルリアリティに慣れるのに従って、徐々にGear VRの使用時間を長くしてください。最初にヴァーチャルリアリティに入る際に、周囲を見回して、入力装置を使用することで、現実世界における自分の動きと、ヴァーチャルリアリティ体験という結果との間のどんな小さな違いにも適応しやすくなります。
- 有害な諸症状が生じやすくなる可能性があるため、自動車、バス又は電車等の走行中の乗り物に乗っている間は、Gear VRを使用しないでください。
- 必要と感じない場合であっても、30分ごとに少なくとも10ないし15分間の休憩を取ってください。個人によって違いがあるため、不快感を覚えたときはより多い頻度で、より長い休憩を取ってください。自分にとって最適な方法を取るようしてください。
- Gear VRは、現実世界との短時間の相互作用を目的として、一時的に周囲の状況を見ることができる「パススルー」という機能を搭載していることがあります。注意や調整が必要になる状況においては、必ずGear VRを外してください。
- 大きな音量で聴いていると、聴覚に回復不能の障害を来すおそれがあります。大きな音量で聴き続けることと同じく、背景騒音があると、音が実際よりも静かに聞こえるようになります。ヴァーチャルリアリティ体験には没入性があることから、周囲の状況に対する意識を維持し、かつ、聴覚障害のリスクを小さくするため、音量を大きくした状態でGear VRを使用しないでください。

## ▲ 危険 不快感

- Gear VRの使用中に次の症状を感じたときは、直ちに使用を中止してください：発作、失神、眼精疲労、目若しくは筋肉の攣縮、不随意運動、視覚の変化、露視若しくは複視若しくはその他の視覚の異常、めまい、方向感覚の喪失、バランス感覚の異常、手と目の協応の異常、多汗、唾液分泌の増加、吐き気、意識朦朧、頭部若しくは目の不快感若しくは痛み、眠気、疲労、又は運動障害に類するその他のあらゆる症状。
- クルーズ客船から下船した後を感じる場合がある症状と同じように、ヴァーチャルリアリティの使用による症状は持続し、使用後何時間が経ってから、よりはっきりとなることがあります。過度の眠気やマルチタスクの能力の低下に加え、上記に記載の諸症状が、こうした使用後の症状として現れる場合があります。これらの症状は、現実世界において日常的に活動している際にけがをするリスクを増大させるおそれがあります。

- あらゆる症状から完全に回復するまでは、運転、機械の操作その他の視覚若しくは体をよく使う活動（つまり、死亡、身体の傷害又は財産的損害をもたらしうる症状がある中での活動）又は十分なバランス感覚及び手と目の協応を必要とするその他の活動（例えば、スポーツをしたり、自転車に乗ったりすることなど）を行わないでください。
- Gear VRは、全ての症状が数時間にわたって完全に鎮静化するまで使用をしないでください。使用を再開する前に、Gear VRが適切に環境設定されているかを確認してください。
- 使用するコンテンツによっては症状が出やすくなるおそれがあるので、症状が現れる前に使用していたコンテンツのタイプには注意してください。
- 重大な又は持続的な兆候がある場合には、医師の診察を受けてください。



## ▲ 危険 反復性ストレス障害：

Gear VRを使うことで、筋肉、関節又は皮膚が痛くなることがあります。Gear VR使用中に体の一部が疲れたり、痛くなったりしたとき、又は刺痛、しびれ、炎症若しくは硬直を覚えたときは、使用を中断し、Gear VRの使用を再開するまで数時間休憩してください。使用中又は使用後に上記の症状のいずれか又はその他の不快感が続くときは、Gear VRの使用を中止し、医師の診察を受けてください。

## ▲ 危険 医療機器に対する妨害：

Gear VRは、磁石を搭載しており、また、電波を発することがあります。これらは、付近の電子機器（心臓ペースメーカー、補聴器及び除細動器を含みます。）の動作に影響を及ぼすことがあります。ペースメーカー又はその他の埋込型医療機器をお使いの場合は、最初に医師又は当該医療機器の製造者に相談することなく、Gear VRを使用しないでください。Gear VRと当該医療機器との間には安全な距離を保つようにし、当該医療機器に対する持続的な干渉がある場合は、Gear VRの使用を中止してください。

## ▲ 危険 コントローラー：

- Gear VRには当社以外の他の製造者が製造したコントローラーが付属しています。
- コントローラーの安全衛生に関する警告文については、製造者にお問い合わせください。
- コントローラーを使用する際は、コントローラーが手首から離れないように、常に付属のリストラップを使用してください。

## ▲ 危険 バッテリー：

- 窒息 コントローラーはおもちゃではありません。これらは乾電池（小さな部品です。）を使用しています。3歳未満の子供を近づけないでください。
- 乾電池を口に入れないでください。化学やけどのおそれがあります。
- 乾電池を飲み込んだ場合、2時間以内に重大な体内やけどや食道穿孔を引き起こす可能性があります。死に至るおそれもあります。乾電池は子どもの手の届かないところに保管してください。
- 乾電池を飲み込んだり、体内に入り込んでしまったときは、医療機関で診察を受け。
- バッテリー・ケースのふたがしっかりと閉まらない場合には、本製品の使用を中止して、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 火災の危険があります。乾電池は、プラスとマイナスを逆に入れたり、分解したり、充電しすぎたり、刺したり、つぶしたり、使用済みの乾電池や他の種類の乾電池と混ぜて使ったり、火気や高温にさらしたりすると、発熱、液漏れをおこす危険があります。使い捨ての乾電池を充電しないでください。1つのデバイスの乾電池はすべて同時に交換してください。
- 使用時までは元の包装された状態で保管してください。使用済みの乾電池は速やかに適切な処分をしてください。
- デバイスの電極に電気を通しやすい物を触れさせないでください。乾電池は湿気を避けて水の侵入を防いでください。
- 乾電池を分解したり穴をあけたり、改造しようとしたりしないでください。

## ▲ 危険 感電：

感電のリスクを小さくするために、次の事項を守ってください：

- 備え付けの部品を改造し、又は展開しないでください。
- ケーブルが損傷し、又は導線が露出している場合には、製品を使用しないでください。

電源アダプタが付属している場合には、次の事項を守ってください：

- 電源アダプタを液体又は水分に触れさせてないでください。
- お手入れをする際は、その前に電源アダプタのプラグを抜き、乾いた布だけでお手入れをしてください。
- 電源アダプタは火気及びその他の熱源から常に離してください。
- 電源アダプタはGear VRに付属しているもののみを使ってください。

## ▲ 警告 損傷し又は故障したデバイス：

- いずれかの部分が損傷し又は故障したデバイスは使用しないでください。
- デバイスのいかなる部分であっても、自分で修理しようとししないでください。修理は、指定の業者に実施してもらってください。

## ▲ 警告 伝染病の保菌状態：

伝染病（例えば、流行性結膜炎）の伝染を防ぐため、保菌状態にあり、又は伝染病若しくは病気（特に目、皮膚又は頭皮の病気）に罹患している人とGear VRを共有しないでください。Gear VRは、使用の度ごとに肌に優しい除菌シートで（特にレンズを）拭き、かつマイクロファイバーの布で乾拭きしてください。

## ▲ 警告 皮膚刺激：

Gear VRは肌及び頭皮に直接触れるものです。腫れ、痒み又はその他の皮膚刺激に気が付いたときは、Gear VRの使用を中止してください。症状が続く場合は、医師に相談してください。

## 注意 Gear VRの損傷の防止：

- Gear VRを直射日光の下に置かないでください。直射日光に触れると、Gear VRが損傷するおそれがあります。
- スクリーンを損傷するおそれがあるため、レンズを通してレーザー又は外部光源を照射しないでください。
- 意図しない損傷や外部環境にさらされることを最小化するため、使用しないときはコンポーネントを保管ケースに入れて保管してください。